



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
会員研修夜間例会
会員誕生日
9月15日 鈴木 康伸
9月18日 大嶋 孝広
- 次週予定
「温故知新」
留萌RC第30代会長 渡部英次 会員

No. 2433

第10回 9月15日

出席報告

前例会

| | |
|------|--------|
| 会員総数 | 44名 |
| 出免会員 | 6名 |
| 出免出席 | 3名 |
| 出席会員 | 31名 |
| 出席率 | 82.93% |

前々会

第7回 8月18日

| | |
|---------|---------|
| 欠席会員 | 0名 |
| 内メイクアップ | 0名 |
| 修正出席率 | 100.00% |

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告

- 8月26日第3回理事会・第2回クラブ協議会を開催し、8月の事業報告、8月25日現在の収支報告、9月の例会プログラム、9月の事業計画などを承認致しました。
- 昨年度から皆様にご協力を頂いた「そらぶちキッズ・キャンプ募金」の今年度分として14,922円を本日、居林様、本多様にお渡しいたしたいと思います。昨年分21万円ほどは地区を通してお渡ししてありますが、地区全体では700万くらいの寄付があったそうです。その記事を空知プレスが掲載しておりますので回覧します。
- 韓国・論山ロータリークラブの河（ハ・キス）さんから韓（ハン・サンス）さんの記念碑建立への協力に対しての感謝の意が届いて

おります。

- 留萌ライオンズクラブより9月16日に行われます「クラブ創立51周年記念祝賀会」への御招待状が来ております。

👤 幹事報告

芦別RCより8月27日付け会報を受領致しました。角幡裕明会員の長男・唯介氏が「第8回開高健ノンフィクション賞」を受賞されました。11月集英社刊行「空白の五マイル人跡未踏のチベット・ツアンポー峡谷単独行」です。

👥 委員会報告

社会奉仕委員会
第30回創始者杯争奪ゲートボール大会に出席
森(幹)委員長

第9回 9月1日(水) 天候/晴

できませんでした。当日は天候に恵まれ多くの会員の参加をいただき、記念大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。

会員研修委員会 遠藤会員

9月15日は情報集会で夜間例会となっております。後ほどFAXを流しますが、全員の出席をお願い致します。

ニコニコBOX

- ・北海道ブロック大会が無事終了しました 二ノ宮会長を始め皆様のご協力ありがとうございました 申橋会員
- ・第30回創始者杯争奪ゲートボール大会に出席できませんでした 申し訳ありませんでした 森(幹)会員
- ・麻雀大会ついつい実力が出てしまいました 次回はエンリョします 山本会員
- ・マージャン準優勝しました 中川会員
- ・マージャンで1位になりました 大嶋会員
- ・ちょっと良い事がありました 高田会員

| | |
|-----|----------|
| 前 回 | 311,000円 |
| 今 回 | 11,000円 |
| 累 計 | 322,000円 |

プログラム

「そらぶちプレキャンプ第1ターム報告」

本日はお招き頂き、又ご寄付を頂き誠にありがとうございました。

本来ですと、佐々木事務局長代理が参るところですが、所用につき私、居林とキャンプディレクターの本多で第1タームプレキャンプの報告をさせていただきます。

皆様方には8月1日、キャンプにいらしていただきました。あいにくの雨で残念でしたが、海の無い滝川に海を運んでいただきました。子供たちはカニ釣りや、ホタテ釣りは一度も経験したことがないと思います。私は黄金岬でカニ釣りなどをした思い出はありましたが、子供た

ちは初めての経験に大喜びでした。

皆様方がホタテマンになったり、甘エビガールになったりと私たちも非常に感動し、キャンプ一同皆様方のご厚意とご支援に深く感謝したところでございます。

先ほど会長からもお話がありましたが、国際ロータリー 2510地区のご寄付の寄贈式が8月22日に行われました。その折に、渡邊ガバナーからお話がありましたが、滝川でのキャンプということで各ロータリーの皆様のご理解がなかなか得られなかった。その中で、アジアで初めて日本全国の難病の子供たちを無料で招いて、アウトドアの体験をしていただくという話をしていくうちに皆さんのご理解が得られ、今回の留萌RCさんのように実体験としてキャンプに参加していただける運びになったことに、ガバナーも大変喜ばれておりました。

それでは、本多の方から第1タームの様子をお伝えしたいと思います。



私は本多貴子と申します。キャンプでは子供たちから「ずんこ」という親しみやすい呼び方で呼ばれています。

昨年度まで国立の小児病院、今の国立生育療育センターと千葉県の子供病院で、ガンの子供や重い障害を持った子供たちと一緒に看護師として関わってきました。私自身そらぶちキッズキャンプの魔法にかかったひとりで、看護師をしながら初期の段階からお手伝いさせていたしましたが、昨年滝川に移住することになり、子供たちと向き合いながら運営を手伝わせていただいています。

今日は先日の写真などを交えながら、4日間のキャンプ中の様子を見ていただき、笑顔のおすそわけが出来たらいいなと思っています。

最初に財団のご説明をさせていただきます。

今回は21名の子供たちが大阪、東京都内から集まりました。元気そうに見えましたが、長く辛い闘病生活をしてきた子供たちです。そして、外の桜を見に行くことも触れることも細菌等の感染があるため我慢してきました。私たちは彼らの夢である「外で思いっきり遊ぶ」というこ

とを提供できたらいいな、という思いでそらぶちキッズキャンプを行っております。

皆さんに来ていただいたのがキッズキャンプというもので、夏と冬に行っていますが、冬に関してはまだ施設等も建設途中のため家族キャンプという形を取らせていただいています。今年は夏休みに2本のキャンプを行いました。

子供たちが元気に遊び、仲間を作り、すばらしい思い出を作る。そして生きる力をもう一度得てそれぞれの地域に戻っていくというのが大きな目標です。さらに家族にとっても、病気の子供を預かってもらえたので日頃我慢させている兄弟のために夏休みを過ごすことが出来ました、という声も聞かれました。お父さん、お母さん、兄弟が少しほっとできる時間を提供していくことも重要なことだと思っています。

1日目はキツツキの森で森遊びをしました。目隠しをして森の中の音を聞き、葉っぱの匂いをかぎ、手で触り色々な葉っぱがあるように、色々な仲間が居ていいんだということを伝えたく、このプログラムを組みました。

その後は70メートルもある巨大な流しそうめんをしました。

次のプログラムは、グライダーに挑戦しました。チャレンジ、すこし勇気を出し頑張ってもらうことで、自信を持ち仲間を支えられていることを感じてもらうためのものです。

キャンプには全国各地から、看護師やお医者さんがボランティアとして協力してくれています。

3日目は近隣の農家に野菜の収穫に行きました。都会に住んでいる子供たちですから自分で収穫して食べる経験も無く、とても楽しそうに食べれないくらいの量を採っていました。

帰ると、ホタテマンや甘エビさんが迎えてくれたのでおおはしゃぎでした。ホタテやカニを釣ったことが無かったので、本当に楽しかったという感想が続々とキャンプ場に届いています。本当はホタテが苦手な子もいましたが、自分で獲ったホタテは美味しくて大好きになった子もいました。

実は、終了後にアンケートを実施しています

が「釣りがとっても楽しかった」という答えが沢山寄せられていたので、この場でご報告できればと思っていました。

最後の食事の時は、初めは手もつなげなかった子供たちが手をつないで「いただきます」が出来ました。

これから生きていく中で大変なこと、耐えなくてはいけないことが沢山あると思います。もちろん、再発というリスクもあります。でも、ここで出会って過ごした4日間がこの子供達にとってはかけがえの無い思い出で、固い絆で結ばれたのではないかと思います。

そらぶちキッズキャンプは、本当に沢山の皆さんに支えられているということ、子供たちも私たちも感じています。そして笑顔が生まれ、優しい気持ちになれる場所なのではないかと思っています。

本当にありがとうございました。



第9回 9月1日(水) 天候/晴

そらぶちキッズキャンプとは

日本初 難病の子どもの自然体験施設

公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ

本多 貴子

solaputi kids' camp



例会プログラム【9月】

9月15日(水) 会員研修夜間例会

9月29日(水) 「我が生い立ち」

9月22日(水) 「温故知新」 第30代会長 渡部会員

長谷川・辻本 会員